

～ 再発見！三戸町商店街 ～

幅広い世代が参加できる商店街クイズラリーを実施。また、空き店舗を活用した無料休憩所を設置し、地域内の交流を促進させるとともに、地元高校との連携によりチャレンジショップを行った。この結果、来街者が増加し、商店街の賑わいと活性化につながっている。

所在地：青森県三戸郡三戸町大字二日町17
 TEL：0179-20-1388 FAX：0179-22-1906
 URL：<http://www.sannohestamp.or.jp>
 組合員数：56名
 商店街の類型：スタンプ事業を中心とする組合

商店街の概要と事業を実施した背景

三戸町でスタンプ事業等を行う商店街の協同組合。人口の減少に伴い高齢化が進み、空き店舗が目立ち始め、街全体に活気が見られない状況が続いている。こうした状況を打開するため、従来の特定の年代層に偏りがちだったイベントの内容を見直し、幅広い世代が参加できるものへの考えから商店街クイズラリーやチャレンジショップを実施。これにより商店街全体の活性化と組合員の意識の向上を目指した。



実施した事業の概要

①商店街クイズラリー

組合員56店に関するクイズを、組合の若手後継者が中心となり作成。各店舗内にクイズを貼付することで、普段利用しない商店にも入店する流れとした。台紙はビンゴゲーム方式にし、クイズの台紙には25店舗の名前を記載し、2ビンゴで1回抽選、3ビンゴで2回抽選でき、地元の物産等が当たる景品抽選会を開催した。また、クイズラリー期間中、空き店舗を活用して商店街無料休憩所を設置。ゆっくりできる場所を提供し、多世代との交流を図っていた。

②三高チャレンジショップ

商店街の空き店舗を活用し、町内にある高等学校のビジネスマネジメントコースの支援として、高校生によるチャレンジショップを実施した。生徒が自ら業者と交渉、販売予測により仕入れを行ったり、チラシ、ポスターの作成、収支の集計等を行った。

チャレンジショップの期間中は、6つのブースに分かれて販売を行った。また、開店時には烽火を打上げ、地域住民に事業実施をアピールした。

こうした取組により、商店街が高校生の実践教育の場となり、地域住民とのコミュニケーションを深める場となった。

さらに、自家用車がなく来街に不便を感じている高齢者の方々の送迎用バスを2日間運行させたことで来街者の増加につながった。



成果と成功の要因

商店街クイズラリーを実施したことで、「初めて入ったお店があった」、「店主にヒントを教えてもらった」等、商店を知ってもらい商店街のイメージを変えることにより来街者の増加に繋げることができた。また、チャレンジショップに参加した高校生には、商品の販売を通して来店してくれたお客様や地域の方々に支えられていることを再認識してもらうことができた。本事業の成功の要因としては、若手後継者が主体となって企画し、自ら商店街クイズやチラシの作成を行ったことに加え、地元高等学校と連携したチャレンジショップでは、高校生に対して親身で積極的なアドバイスを行ったことが大きかったものと考えられる。

今後の取り組み

三戸町は「11ぴきのねこの街」として地域活性化を進めており、今後は三戸町との連携により事業の継続を図っていく予定である。また、今後もチャレンジショップ事業を同時イベントとすることで経費の節減を図っていく。今後とも、地域コミュニティとの関係を強化を図る事業を継続することで、商店街として、将来的な人口減少、後継者不足、空き店舗への対策につなげていく予定である。